【対象者または対象者の保護者の皆様】

他市町村で接種を完了している方等は、市に接種履歴がないため、予診票が届く 場合があります。既に接種を受けている場合は行き違いですので、不要な予診票 が届いた場合は破棄してください。

鹿児島市

子宮頸がん予防接種についてのお知らせ

子宮頸がんの定期予防接種は、平成25年6月から、積極的な接種勧奨を一時差し控えておりましたが、国において、子宮頸がん予防ワクチン (HPVワクチン) の安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたこと等から、令和4年4月から接種勧奨を再開しています。また、積極的な接種勧奨の差し控えにより、接種機会を逸した女子に対し、令和4年4月から従来の定期接種の対象年齢を超えて接種(キャッチアップ接種)を行っています。

子宮頸がんの予防接種は、医療機関で受けることができますので、同封のリーフレットをお読みいただいた上で接種を希望する場合は、記載されている委託医療機関へ予約し、同封の「予診票」及び「母子健康手帳」を持参して予防接種を受けてください。

HPVワクチンの対象者・接種期間・接種回数・接種費用・接種場所

	従来の定期接種	キャッチアップ接種 (積極的な接種勧奨の差控えにより接種の機会を逸した女子)
対象者	小学校6年生から高校1年生相当の女子 (標準的な接種期間は中学1年生)	平成9年4月2日~平成20年4月1日生まれで HPVワクチン未接種又は接種を3回終了していない女子(左 記対象者を除く。)※接種時点で高校2年生相当以上の女子
接種期間	16歳(高校1年生相当)となる日の属 する年度の末日まで	令和7年3月31日まで
接種回数	3回 (<u>9価ワクチンに限り、1回目の接種</u> を15歳になるまでに受ける場合、2 回で接種が可能)	3回(過去に接種歴がある方は未接種分の回数)
接種費用 接種場所	無料・委託医療機関(別紙の委託医療機関一覧表をご覧ください)	

※キャッチアップ接種の対象の方で、既に自費で接種をした方については、接種費用の助成を行います。詳しくは別紙の「子宮頸がん予防接種を自費で受けた方への接種費用の助成について」をご確認ください。

予診票について

接種を受けるときは、「予診票」の太線内を記入してください。複写式になっていますので、"2枚を1セット"としてお使いいただき、2枚とも医療機関へ提出してください。

【注意事項】

- (1) 「予診票」の提出がないと、接種料金が無料になりませんのでご注意ください。
- (2) キャッチアップ接種の対象の方は、接種期間を過ぎると同封の予診票は使用できません。
- (3) 妊娠または、妊娠をしている可能性のある方は接種を控えてください。
- (4) 予診票の右上の「診察前の体温」は、医療機関で計った体温を記入してください。ただし、接種当日の健康 状態の確認のため自宅でも計ってください。
- (5) 予診票の保護者又は被接種者自署は、医師の予診が終わった後、予防接種の前に記入してください。
- (6) 別紙の「予防接種を受ける場合の注意点について」は、予防接種を受けるための一般的な注意事項等が記載されていますので、事前によく読んでおいてください。
- (7) 鹿児島市に住民登録をされていない方は、住民登録をしている市町村にお問い合わせください。
- (8) 県外(市外)で接種を希望される場合は、事前に手続きが必要です。下記の二次元コードを読み取るか、市ホームページから、「県外(市外)で予防接種を希望する方」のページをご確認いただき、<u>接種をされる前にお手続きをお願いします。</u> **QASTO QASTO QASTO**

※市外(鹿児島県内)で接種を希望する方で、接種する医療機関が県内の協力医療機関であれば、手続きは不要です。鹿児島県医師会ホームページより、

県内の協力医療機関を確認できます。



(協力医療機関)

県外 予防接種

検索



(裏面に続きます。)

HPVワクチンについて

HPVワクチンは、接種することによって体内に抗体をつくり、HPVの感染を予防します。

210024.			
ワクチン	2価(サーバリックス [®])	4価(ガーダシル [®])	
接種回数・方法	3回・筋肉内注射		
標準的な 接種間隔	・初回接種から1か月後に2回目 ・初回接種から6か月後に3回目	・初回接種から2か月後に2回目 ・初回接種から6か月後に3回目	
上記の方法を とることがで きない場合の 接種間隔	・初回接種から1月以上の間隔をおいて2回目 ・初回接種から5月以上、かつ2回目の接種か ら2月半以上の間隔をおいて3回目	・初回接種から1月以上の間隔をおいて2回目 ・2回目の接種から3月以上の間隔をおいて3回目	
副反応等	【局所(注射部位)】 疼痛(99%)、発赤(88.2%)、腫脹(78.8%) ※通常は数日程度でおさまります。 【全身】 疲労(57.7%)、筋痛(45.3%)、頭痛(37.9%) ※出典:サーバリックス [®] 添付文書(第14版)	【局所(注射部位)】 疼痛(82.5%)、紅斑(30.2%)、腫脹(25.4%) ※通常は数日程度でおさまります。 【全身】 発熱(5.8%)、頭痛(4.0%) ※出典: ガーダシル [®] 添付文書(第2版)	

ワクチン	9価(シルガード® 9)	
接種年齢	1回目の接種を15歳 <u>以上</u> で受ける場合	1回目の接種を15歳 <u>未満</u> で受ける場合
接種回数・方法	3回・筋肉内注射	2回・筋肉内注射
標準的な 接種間隔	・初回接種から2か月後に2回目 ・初回接種から6か月後に3回目	・初回接種から6月の間隔をおいて2回目
上記の方法を とることがで きない場合の 接種間隔	・初回接種から1月以上の間隔をおいて2回目・2回目の接種から3月以上の間隔をおいて3回目	・初回接種から5月以上の間隔をおいて2回目 ただし、5月未満の間隔で2回目を接種した場 合、2回目の接種から3月以上の間隔をおいて3回 目を接種すること。
副反応等	【局所 (注射部位) 】疼痛(93.0%)、腫脹(42.0%) 【全身】発熱(3.0%)、頭痛(2.0%)、悪心 (2.0%) ※出典:シルガード®9添付文書(第5版)	、紅斑(33.0%) ※通常は数日程度でおさまります。

【副反応について】

- ・重い副反応として、まれに、アナフィラキシー様症状(血管性浮腫・じんましん・呼吸困難など)があらわれることがあります。
- ・接種後1週間は症状に注意し、強い痛みがある場合や痛みが長く続く場合など、気になる症状があるときは医師にご相談ください。

留意点

- (1) <u>原則として、1回目に接種したワクチンと同じワクチンを継続して3回目まで接種してください。</u> なお、キャッチアップ接種の対象者について、過去の接種歴やワクチンの種類が不明である方は、接種した 時期に住民登録のあった市町村や、接種を行った医療機関へご相談ください。いずれの方法でも確認が取れない場合は、接種をする医師へ相談し、ワクチンの種類を選択してください。
- (2) これまでに2価または4価のHPVワクチンを1回または2回接種した方は、同じ種類のワクチンを接種することを原則としていますが、医師とよく相談した上であれば、途中から9価HPVワクチンに変更し、残りの接種を完了することができます。
- (3) 過去の接種から長期間経過している場合でも、既に済んでいる接種分については、再度接種する必要はありません。この場合においても、残りの回数分を上記の接種間隔で接種できます。
- (4) これらのワクチンで全ての発がん性のHPVの感染を防ぐことができるわけではありません。ワクチンの接種だけではなく、**定期的に子宮頸がん検診を受けることが大切です。**(鹿児島市では、20歳以上の女性を対象に毎年1回子宮頸がん検診を実施しています。)

【問い合わせ先】 8:30~17:15 (土・日曜日、祝日、年末年始を除く) 鹿児島市保健部感染症対策課 TEL:099-803-7023 FAX:099-803-7026